

鋁工業指数 参考資料

(平成27年8月速報)

平成27年9月30日
經濟解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

平成27年8月(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	97.0	95.7	114.1	119.1
前月比	▲ 0.5%	▲ 0.5%	0.4%	6.1%
指数水準	H26.8 96.7以来 ①H21.2 76.6 ②H21.3 77.6 ③H21.4 81.0	H26.8 94.9以来 ①H21.2 79.2 ②H21.3 79.7 ③H21.4 80.7	H27.6 114.6以来 I H20.12 119.8 II H21.1 119.5 III H20.11 119.1	H23.5 120.3以来 I H21.2 155.6 II H21.1 150.2 III H21.3 146.3
前月比の動き	2か月連続▲ (H27.7～当月)	2か月連続▲ (H27.7～当月)	2か月ぶり+ (H27.6以来)	3か月ぶり+ (H27.5以来)
前月比幅	H27.7 ▲0.8%以来 ①H23.3 ▲16.5% ②H21.1 ▲8.8% ③H21.2 ▲8.6%	H27.5 ▲1.9%以来 ①H23.3 ▲15.7% ②H21.1 ▲9.5% ③H20.12 ▲7.1%	H27.6 1.5%以来 I H23.5 4.7% II H24.3 2.5% III H22.12,H23.4 2.3%	H26.8 7.0%以来 I H20.11 13.2% II H20.12 9.9% III H21.1 9.8%
前年同月比(原指数)	0.2%	0.8%	2.2%	1.0%
前年同月比の動き	2か月ぶり+ (H27.6以来)	2か月ぶり+ (H27.6以来)	16か月連続+ (H26.5～当月) ・直近で16ヶ月以上連続+ 22か月連続+ (H23.5～H25.2)	16か月連続+ (H26.5～当月) ・直近で16ヶ月以上連続+ 20か月連続+ (H20.3～H21.10)
前年同月比幅	H27.6 2.3%以来 I H22.3 29.2% II H22.2 28.8% III H22.4 23.8%	H27.6 1.8%以来 I H22.3 28.4% II H22.2 27.0% III H22.4 25.4%	H27.7 2.7%以来 I H24.3, 4 12.1% II H23.8 9.0% III H23.9 8.1%	H27.7 1.8%以来 I H21.2 64.6% II H21.1 54.8% III H21.3 47.9%

1) ▲はマイナス

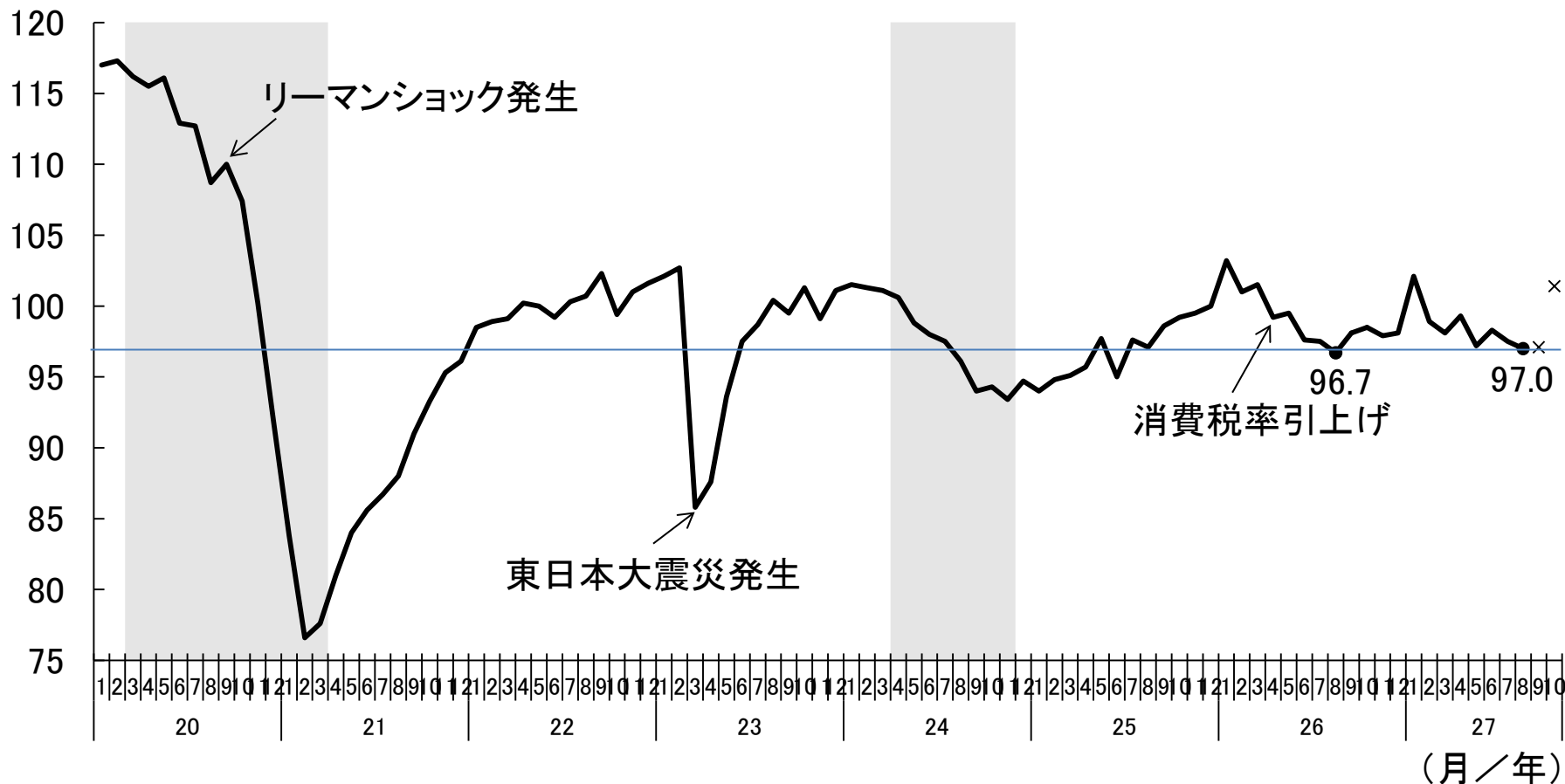
2) I～IIIは22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

3) 【 】内は22年基準以外

鉱工業生産指数の動向

- 平成27年8月の生産指数は97.0(前月比▲0.5%)と2か月連続の低下。
- 平成26年8月の96.7以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



- (注) 1. 鉱工業指数(IIP)とは、月々の鉱工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は平成22年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鉱工業全体の動きを示す代表的な指標。
2. ×は「製造工業生産予測調査」における2か月の前月比の値を鉱工業生産指数にあてはめて計算した予測値。
3. シャドー部分は景気後退局面。

鉱工業生産を大きく動かした品目

業種別

		業種・品目名	前月比	寄与率
○ 鉱工業生産を上昇方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	プラスチック製品工業	2.3%	22.3%
	品目			
	2位の業種	石油・石炭製品工業	3.7%	11.6%
	品目	石油製品	3.8%	11.8%
	3位の業種	化学工業(除. 医薬品)	0.3%	6.0%
	品目	化粧品 石けん・合成洗剤・界面活性剤	3.4% 5.2%	17.8%
○ 鉱工業生産を低下方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 3.2%	▲ 94.2%
	品目	金属工作機械 土木建設機械	▲ 13.1% ▲ 9.7%	▲ 39.1% ▲ 37.3%
	2位の業種	電気機械工業	▲ 3.2%	▲ 42.7%
	品目	回転電気機械 電気計測器	▲ 6.6% ▲ 9.4%	▲ 13.7% ▲ 11.4%
	3位の業種	輸送機械工業	▲ 0.7%	▲ 26.8%
	品目	トラック 乗用車	▲ 7.0% ▲ 0.8%	▲ 21.5% ▲ 10.7%

寄与率: 生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い
全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる

※ **業種別** **全体** 内の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した
分類によるもの。

全体

		品目名	前月比	寄与率
○ 鉱工業生産を上昇方向 に引っ張った3品目	1位	半導体・フラットパネル製造装置	8.3%	30.2%
	2位	化粧品	3.4%	17.8%
	3位	石油製品	3.8%	11.8%
○ 鉱工業生産を低下方向 に引っ張った3品目	1位	金属工作機械	▲ 13.1%	▲ 39.1%
	2位	土木建設機械	▲ 9.7%	▲ 37.3%
	3位	トラック	▲ 7.0%	▲ 21.5%

財別(=用途別)

	解説	品目名	前月比	寄与率
非耐久 消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	2.1%	56.3%
		ビール	11.1%	14.3%
		クレンジングクリーム	25.4%	8.8%
生産財	原材料として投入される製品	生産財	▲ 0.2%	▲ 20.2%
		モス型半導体集積回路(メモリ)	▲ 7.2%	▲ 19.5%
		アクティブ型液晶素子(中・小型)	▲ 6.0%	▲ 11.0%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	▲ 3.0%	▲ 33.8%
		橋りょう	▲ 24.7%	▲ 20.8%
		ガス風呂がま	▲ 9.2%	▲ 4.6%
耐久 消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	▲ 2.1%	▲ 40.6%
		普通乗用車	▲ 2.9%	▲ 26.5%
		ノート型パソコン	▲ 25.8%	▲ 8.8%
資本財	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送機械)	▲ 3.9%	▲ 122.5%
		シヨベル系掘削機械	▲ 7.4%	▲ 19.4%
		専用機	▲ 41.5%	▲ 16.7%

平成27年8月 「生産は弱含み」

基調判断の推移

- ・平成25年9月～26年3月
「生産は持ち直しの動き」
- ・平成26年4月～5月
「生産は横ばい傾向」
- ・平成26年6月～8月
「生産は弱含み」
- ・平成26年9月～11月
「生産は一進一退」
- ・平成26年12月～平成27年4月
「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- ・平成27年5月～7月
「生産は一進一退」
- ・平成27年8月
「生産は弱含み」

※基調判断を変更

鉱工業生産指数

四半期ベース

(平成22年=100、季節調整済)

	指数	前期比 (%)
平成26年 II期	98.8	▲ 3.0
III期	97.4	▲ 1.4
IV期	98.2	0.8
平成27年 I期	99.7	1.5
II期	98.3	▲ 1.4
III期	(97.2)	(▲1.1)

月次(3か月移動平均値)ベース

(平成22年=100、季節調整済)

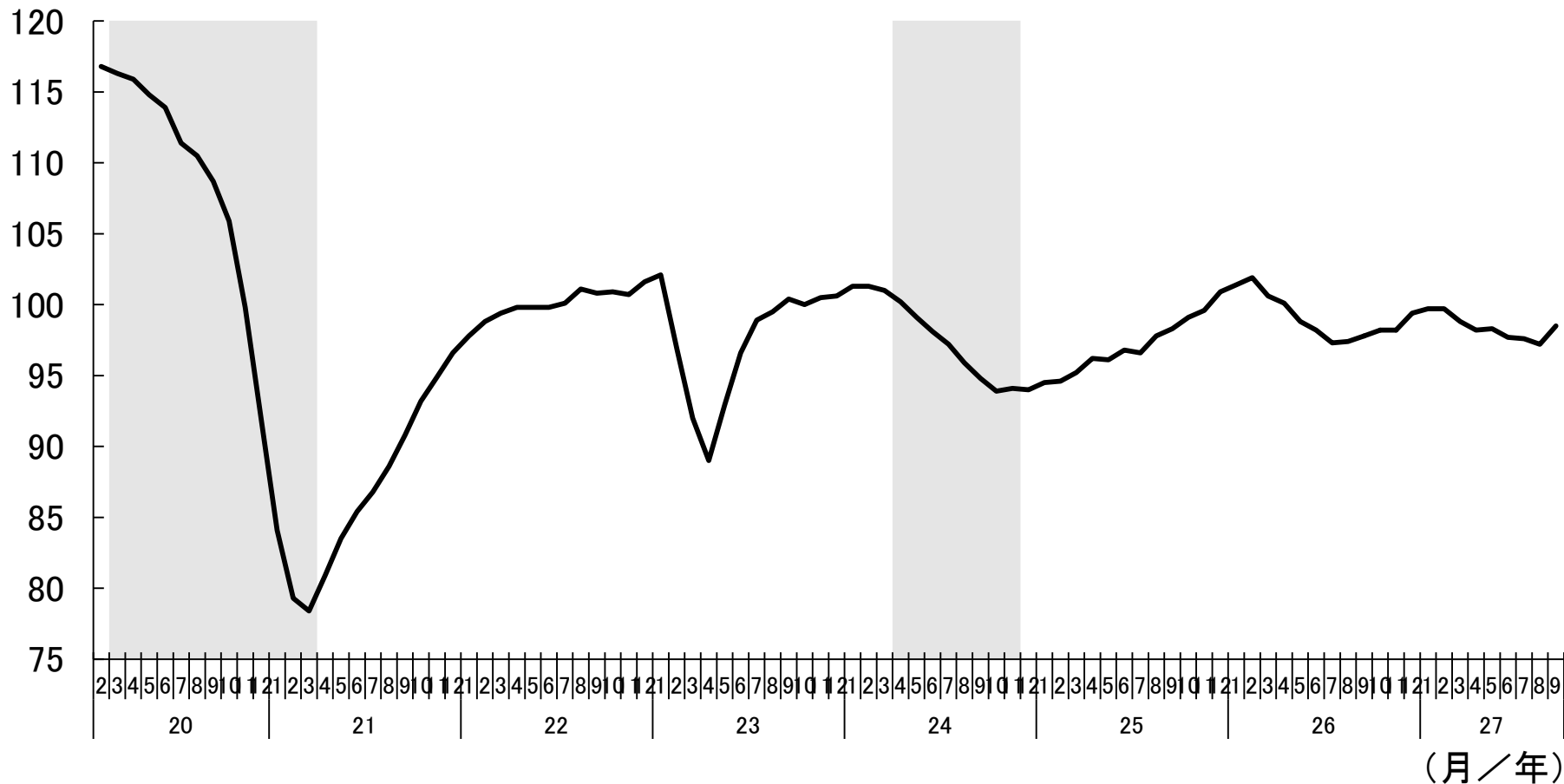
	指数	前月比 (%)
平成25年 9月	98.3	0.5
10月	99.1	0.8
11月	99.6	0.5
12月	100.9	1.3
平成26年 1月	101.4	0.5
2月	101.9	0.5
3月	100.6	▲ 1.3
4月	100.1	▲ 0.5
5月	98.8	▲ 1.3
6月	98.2	▲ 0.6
7月	97.3	▲ 0.9
8月	97.4	0.1
9月	97.8	0.4
10月	98.2	0.4
11月	98.2	0.0
12月	99.4	1.2
平成27年 1月	99.7	0.3
2月	99.7	0.0
3月	98.8	▲ 0.9
4月	98.2	▲ 0.6
5月	98.3	0.1
6月	97.7	▲ 0.6
7月	97.6	▲ 0.1
8月	(97.2)	(▲0.4)
9月	(98.5)	(1.3)

(注)

上記の平成27年Ⅲ期の()及び右表の平成27年8月、9月の()内の数字は、製造工業生産予測指数の伸び率をそのまま鉱工業生産指数の最新月に適用して、機械的に計算したものである。製造工業生産予測指数は、鉱工業指数の対象のうち一部の企業に対して、今後の生産計画を調査したものの。

参考：鋳工業生産指数(3か月移動平均値)の動向

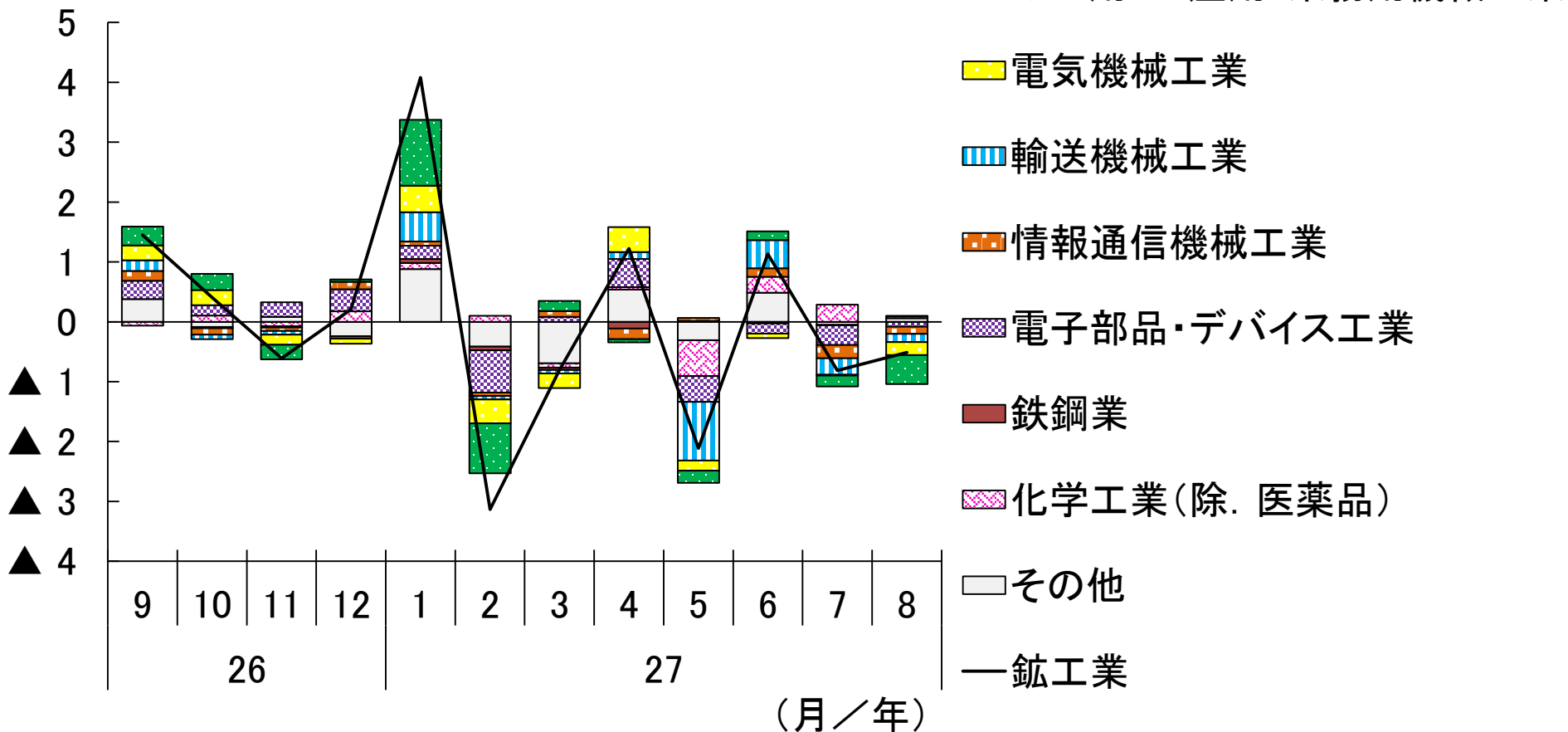
(22年=100、季節調整済)



鋁工業生産への業種別寄与度分解

- 平成27年8月の生産指数(前月比、季節調整済)は、はん用・生産用・業務用機械工業などが低下したため、前月比▲0.5%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

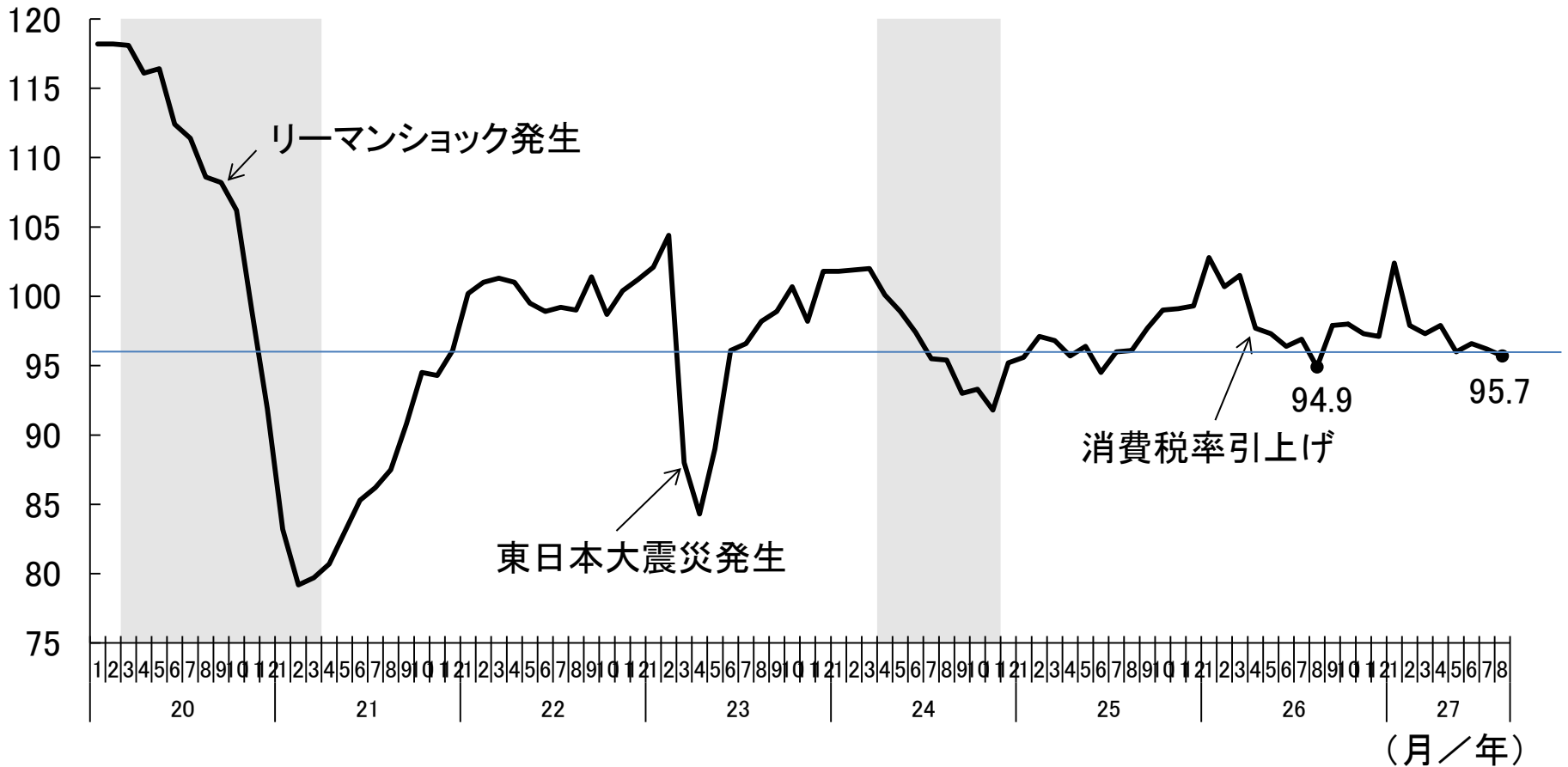


注:その他には、非鉄金属工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、繊維工業、食料品・たばこ工業、その他工業、鋁業が含まれる。

鋳工業出荷指数の動向

- 平成27年8月の出荷指数は95.7(前月比▲0.5%)と2か月連続の低下。
- 平成26年8月の94.9以来の指数水準。

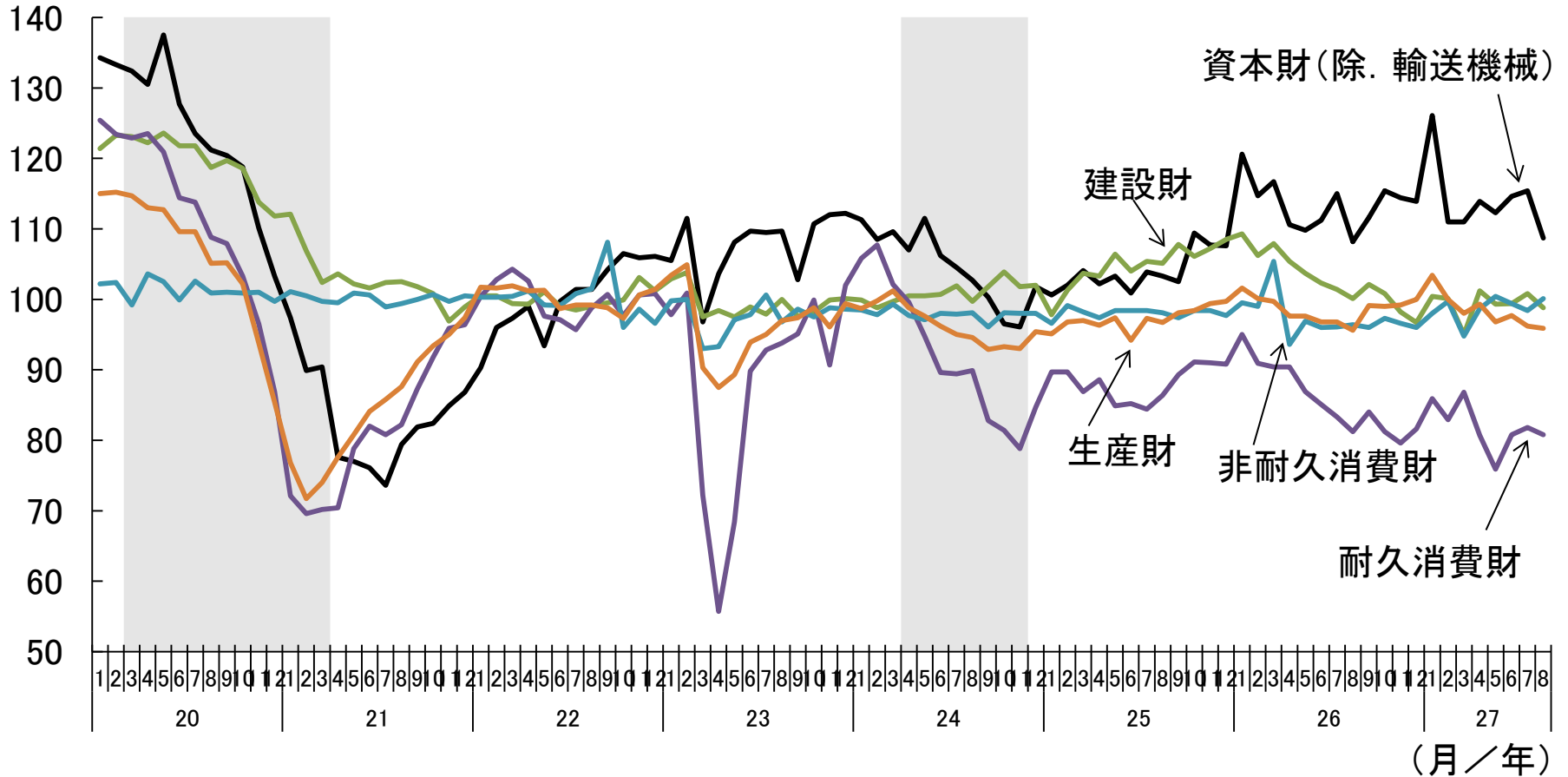
(22年=100、季節調整済)



(注)シャド一部分は景気後退局面。

財別出荷指数の動向

(22年=100、季節調整済)



(注) 1. 財の概要

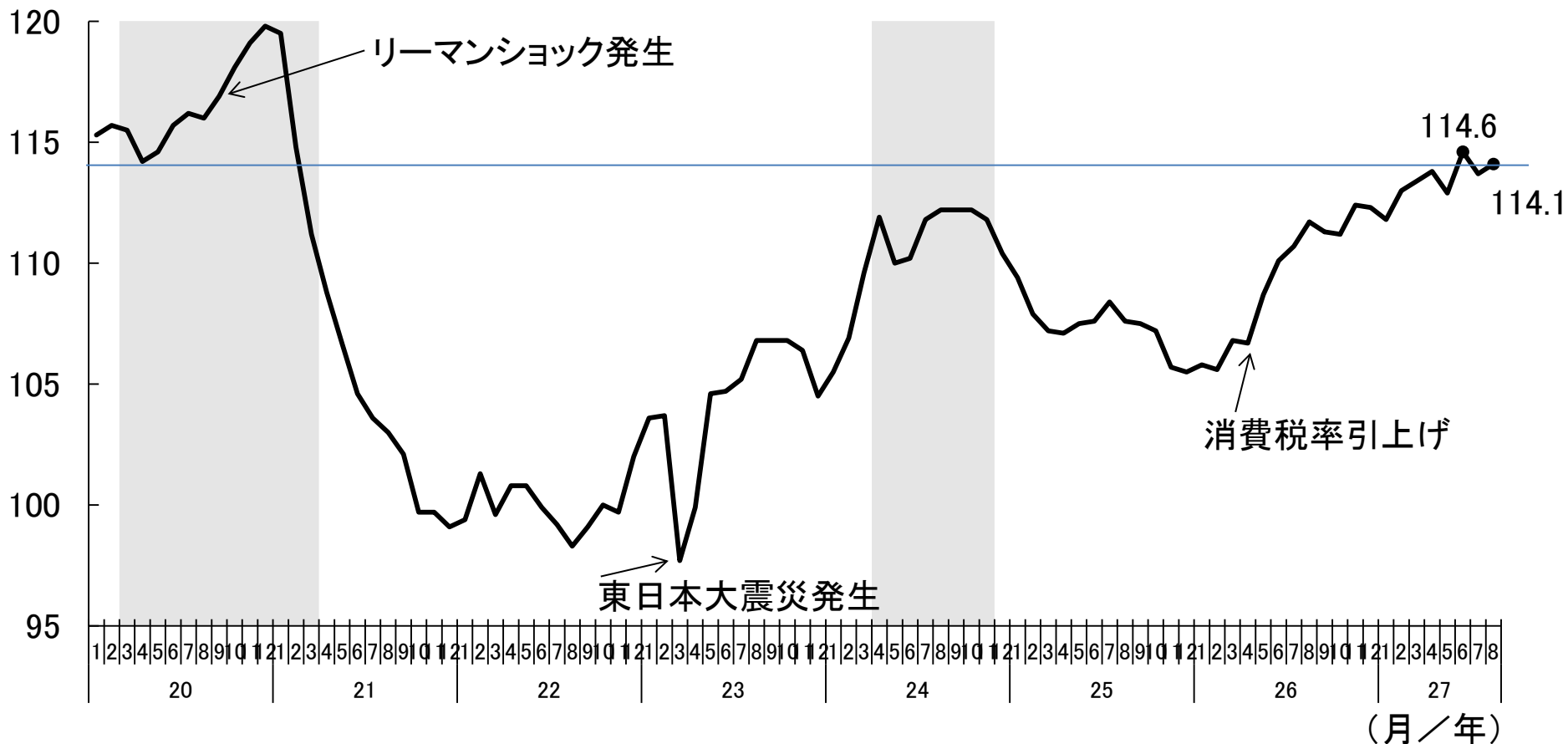
- ・資本財(除. 輸送機械): クレーンや金属工作機械など設備投資に向けられる製品
- ・建設財: 鉄骨やセメントなど建設投資に向けられる製品
- ・耐久消費財: テレビや電気冷蔵庫など家計で購入される製品
- ・非耐久消費財: 食料品や衣料品など家計で購入される製品
- ・生産財: 原材料として投入される製品

2. シャド一部分は景気後退局面。

鉱工業在庫指数の動向

- 平成27年8月の在庫指数は114.1（前月比0.4%）と2か月ぶりの上昇。
- 平成27年6月の114.6以来の指数水準。

（22年=100、季節調整済）

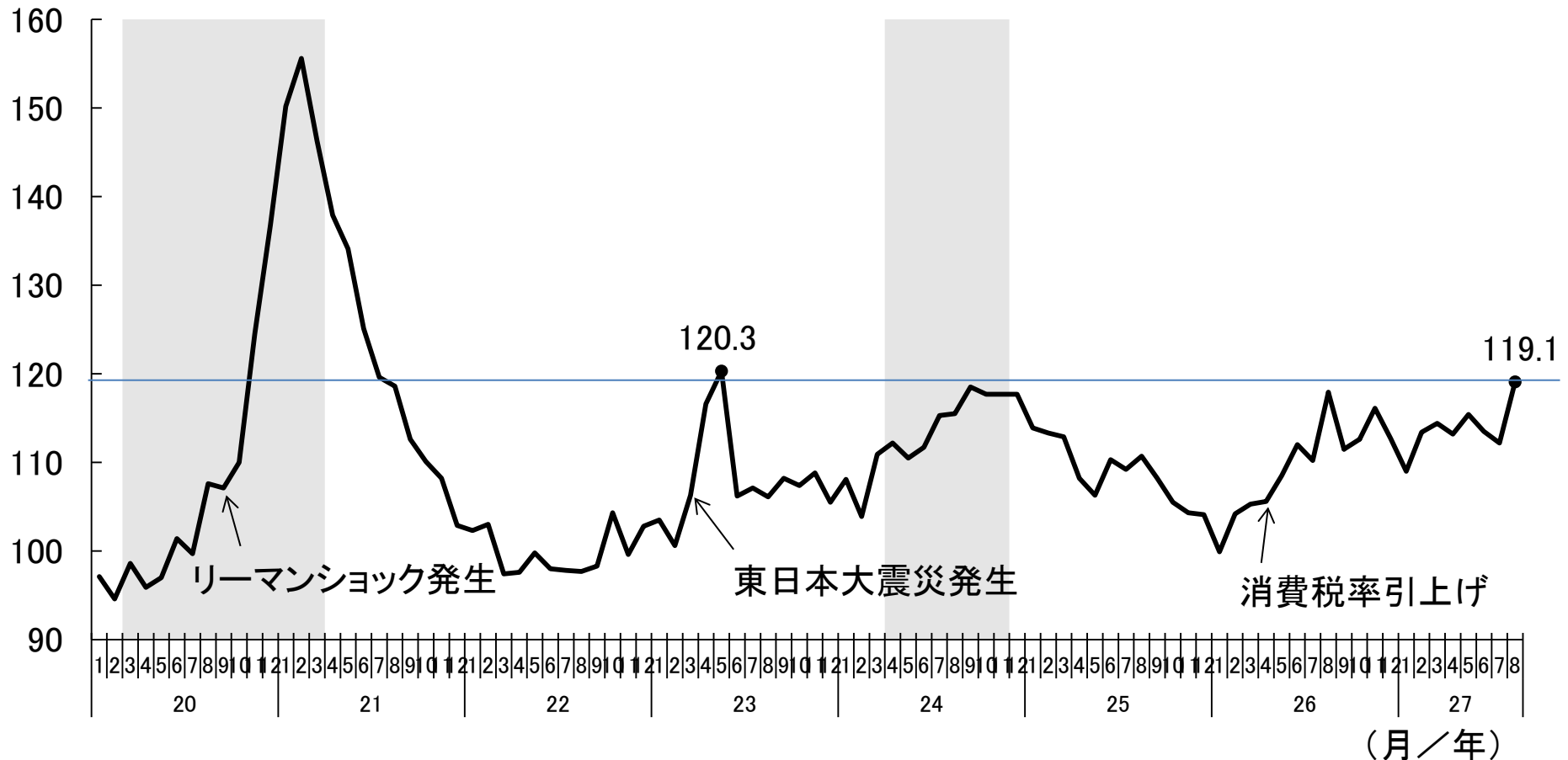


（注）シャドー部分は景気後退局面。

鋁工業在庫率指数の動向

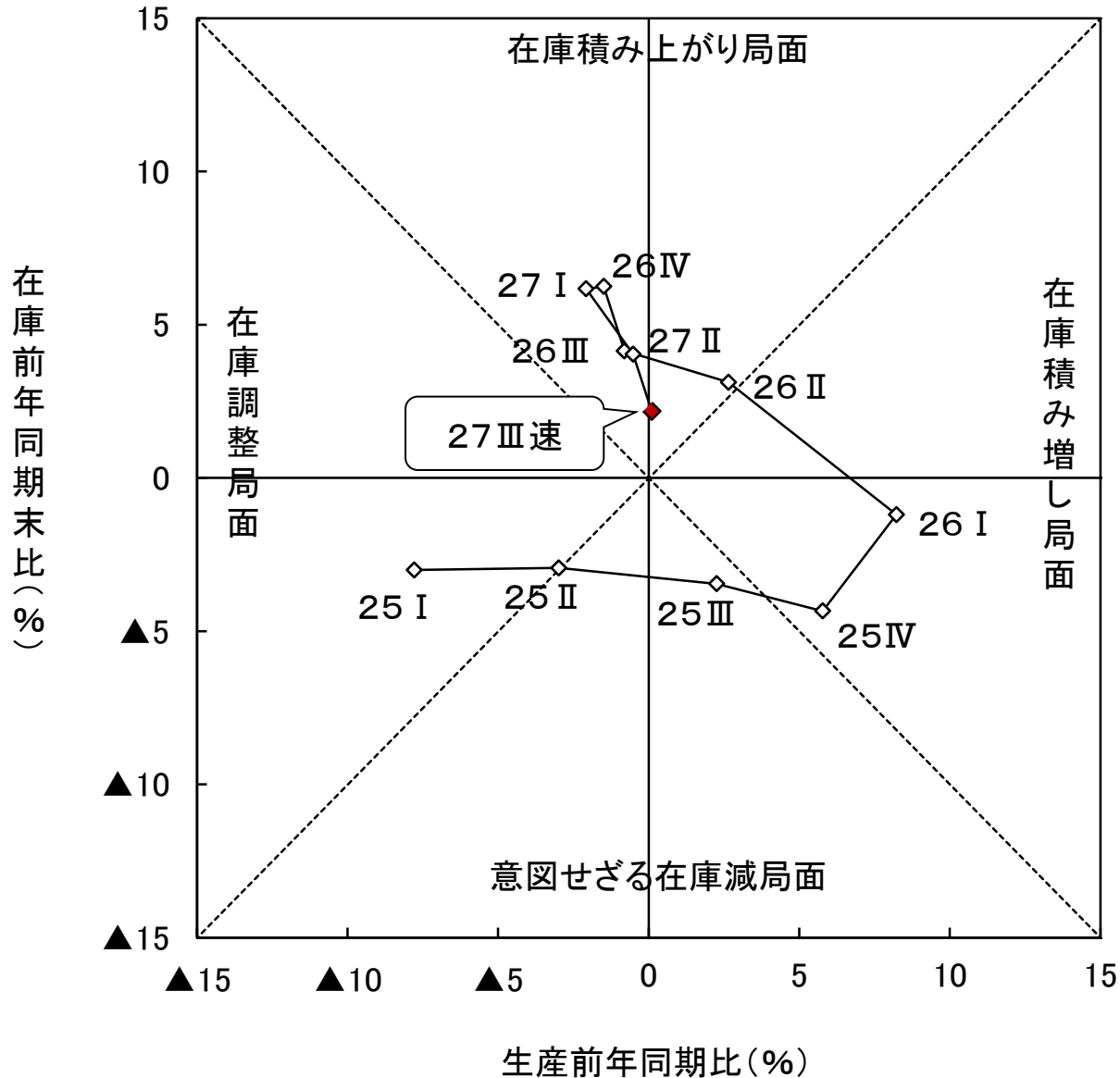
- 平成27年8月の在庫率指数は119.1（前月比6.1%）と3か月ぶりの上昇。
- 平成23年5月の120.3以来の指数水準。

（22年＝100、季節調整済）



（注）シャド一部分は景気後退局面。

鋳工業の在庫循環図



(注)「27Ⅲ速」は、生産は平成27年7、8月値の平均値を在庫は8月値を使用。